

岡山県感染症週報 2012 年 第 19 週 (5 月 7 日～5 月 13 日)

岡山県は「インフルエンザ注意報」を解除しました。(5 月 17 日)

◆2012 年 第 19 週 (5/7～5/13) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

第 17 週 2 類感染症 結核 1 名 (80 代 男)

■定点把握感染症の発生状況

○インフルエンザは、県全体で 30 名 (定点あたり 0.39 人) となり、減少がつづいています。

岡山県は、5 月 17 日「インフルエンザ注意報」を解除しました。

○A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、増加しました。

○感染性胃腸炎は、前週とほぼ同数で、美作地域では感染症発生レベル 3 が継続しています。

【第 20 週 速報】

○インフルエンザとみられる学級閉鎖が、吉備中央町 (5/14)・倉敷市 (5/17) の小学校各 1 校でありました。

○感染性胃腸炎による学級閉鎖が、倉敷市 (5/15・17) の小学校で 2 校ありました。

1. **インフルエンザ**は、県全体で 30 名 (定点あたり 0.36 人) の報告があり、前週 (定点あたり 0.69 人) よりさらに減少しました。岡山県は 2 週連続して定点あたり 1 人を下まわったため、5 月 17 日「インフルエンザ注意報」を解除しました。県内の発生状況・臨時休業情報などは『[インフルエンザ情報](#)』をご覧ください。全国の第 18 週 (4/30～5/6) の定点あたり報告数は 1.52 人 (前週 3.82 人) であり、第 6 週以降減少が続いています。
2. **A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎**は、患者が増加傾向であり、今週は大きく増加しました。詳しくは『[今週の注目感染症](#)』をご覧ください。
3. **感染性胃腸炎**の定点あたり患者数は、前週とほぼ同数でした (定点あたり 7.30 → 7.50 人)。詳しくは『[感染性胃腸炎情報](#)』をご覧ください。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ		★	RSウイルス感染症		★
咽頭結膜熱		★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		★★★
感染性胃腸炎		★★★★	水痘		★★★
手足口病		★	伝染性紅斑		★
突発性発疹		★★★★	百日咳		
ヘルパンギーナ			流行性耳下腺炎		★
急性出血性結膜炎			流行性角結膜炎		★
細菌性髄膜炎			無菌性髄膜炎		
マイコプラズマ肺炎		★	クラミジア肺炎		★

【記号の説明】

前週からの推移: 2 倍以上の減少 1.1～2 倍未満の減少 1.1 未満の増減

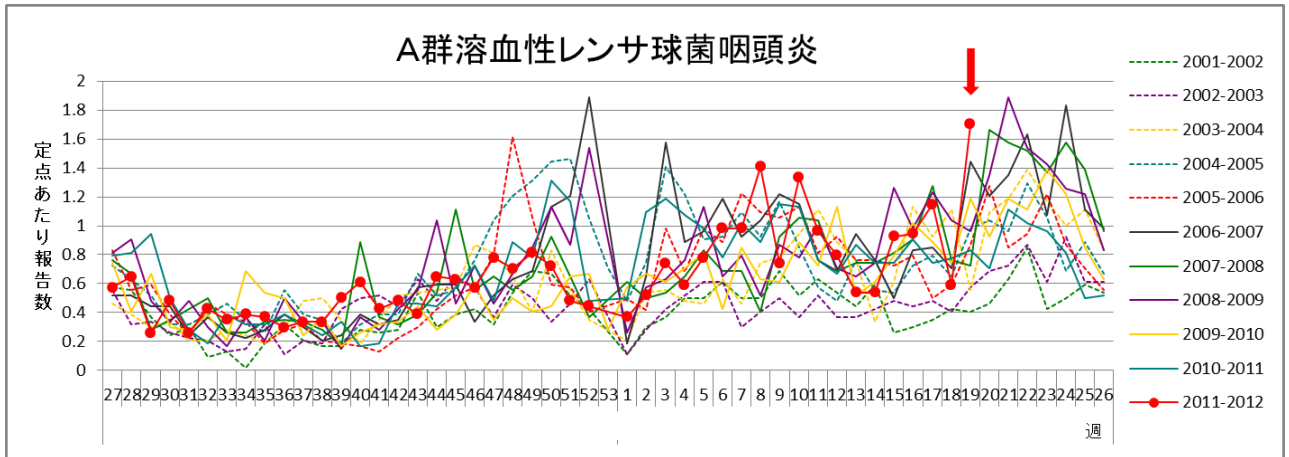
1.1～2 倍未満の増加 2 倍以上の増加

流行状況: 空白 発生なし ★僅か ★★少し ★★★やや多い ★★★★★多い ★★★★★★非常に多い

※定点当り患者数について、過去 5 年間の標準偏差値を 5 等分し、流行状況の目安として 5 段階で表示しています。

今週の注目感染症

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

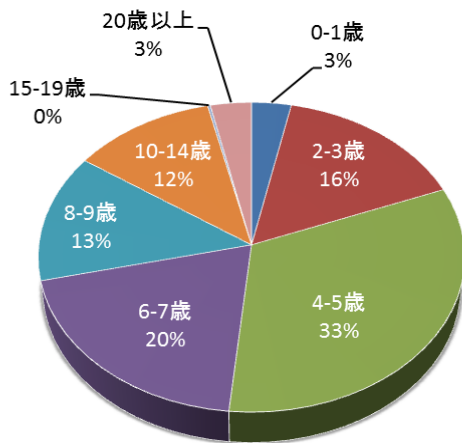


※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年27週～今年26週を1シーズンとして、グラフを作成しています。

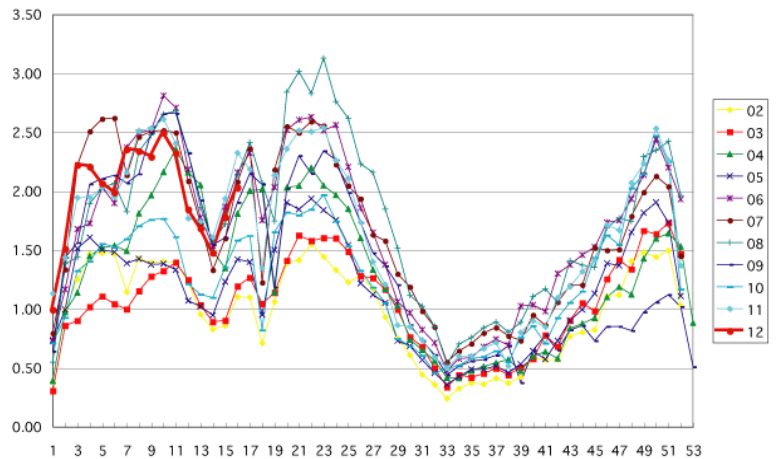
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、連休中で医療機関の休診が多かった第18週を除き、第15週から増加傾向であり、今週は大きく増加しました（定点あたり1.70人）。年齢別では、4～5歳が最も多く、4歳～10歳の幼児・児童が患者の多くを占めています。

例年、冬と、春から初夏にかけての2回流行が見られ、患者は学童期の小児に最も多いといわれています。全国的にも第15週から増加傾向がみられ、今後流行の時期に入り、患者の増加が懸念されますので注意してください。

2012年 岡山県 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 年齢別患者割合



全国のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎（第16週現在）



（国立感染症情報センターHPより）

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは】

A群溶血性レンサ球菌による上気道感染症です。

【症状】

感染後、2～5日で発症します。突然の発熱、体のだるさ、咽頭痛によって発症し、しばしば嘔吐を伴います。また、口腔内に小点状出血や莓舌がみられることがあります。通常発熱は3～5日以内に下がり、症状は1週間以内に消失する予後良好の疾患ですが、まれに肺炎、髄膜炎などの合併症を起こすこともありますので注意が必要です。

【感染経路】

患者との接触によるヒトからヒトへの接触感染、飛沫感染が主であり、接触機会の多い家庭での兄弟間や、幼稚園、学校などで感染します。

患者との濃厚接触を避ける、うがい・手洗いなどの一般的な予防法が有効です。

インフルエンザ情報 第 19 週 2012 年 5 月 7 日～5 月 13 日

岡山県の『インフルエンザ注意報』は解除されました（5 月 17 日）。

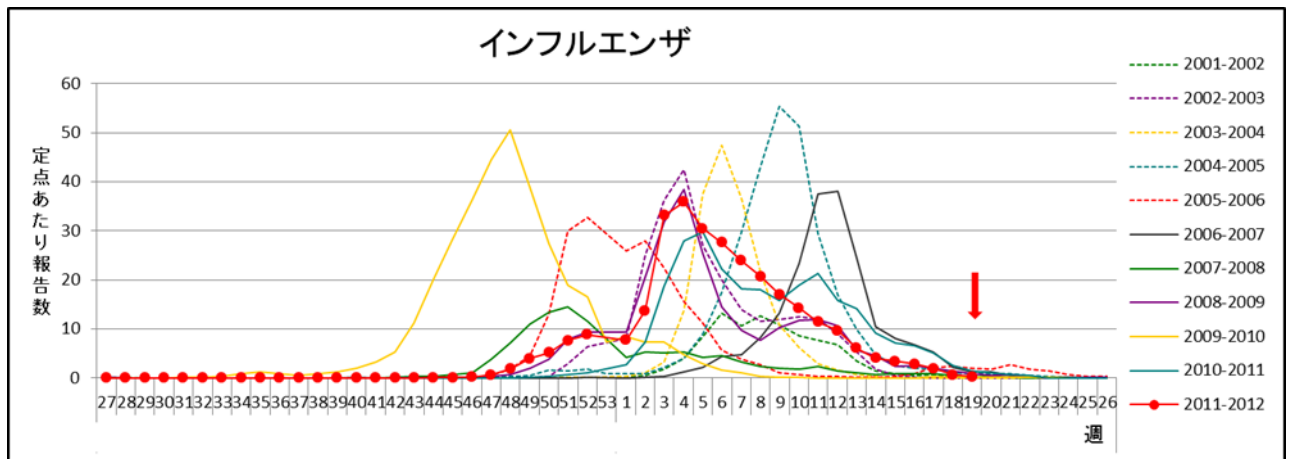
➤ 岡山県の流行状況

○岡山県内の患者報告数は 30 名（ 定点あたり 0.36 人 ）となり、前週よりさらに減少しました。

岡山県は、5 月 17 日をもって「インフルエンザ注意報」を解除しました。

【第 20 週 速報】

○インフルエンザとみられる臨時休業が、吉備中央町（5/14）・倉敷市（5/17）の小学校各 1 校でありました。



※ インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週 ～ 今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

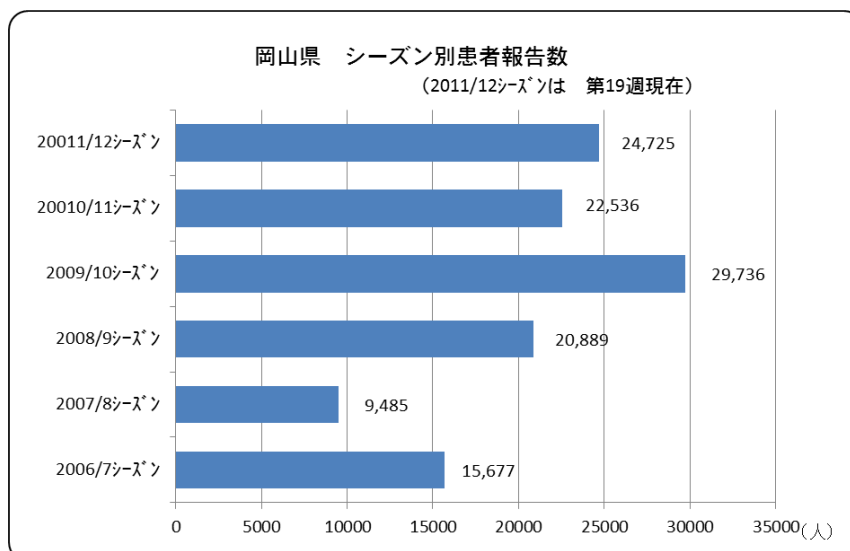
インフルエンザ患者数は 30 名（ 84 定点医療機関 定点あたり 0.36 人 ）となり、前週（ 58 名 定点あたり 0.69 人 ）より減少しました。岡山県では第 4 週（35.88 人）をピークに患者発生は減少を続け、定点あたり患者報告数が第 18 週 0.69 人、第 19 週 0.36 人と 2 週連続して 1 人を下まわったため、平成 23 年 12 月 22 日に発令された「インフルエンザ注意報」は、5 月 17 日をもって解除になりました。地域別では、真庭地域（ 2.67 人）でまだ発生が多いものの、その他の地域では定点あたり 1 人を下まわり、今シーズンのインフルエンザの流行は終息したと考えられます。

注意報は解除になりましたが、まだ患者発生の多い地域もあります。また、日常における感染予防として、ひきつづき外出後の手洗い・うがいを励行するなど感染予防に努めましょう。

[○全国のインフルエンザ発生状況 \(国立感染症情報センター\)](#)

1. 患者発生状況

今シーズンの患者報告数は、第 19 週までに 24,725 人の報告があり、過去 5 年のシーズンと比較すると、新型インフルエンザが流行した 2009/10 年シーズンに次いで、患者が多く報告されました。

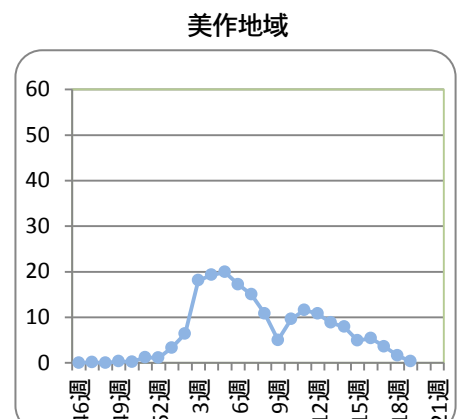
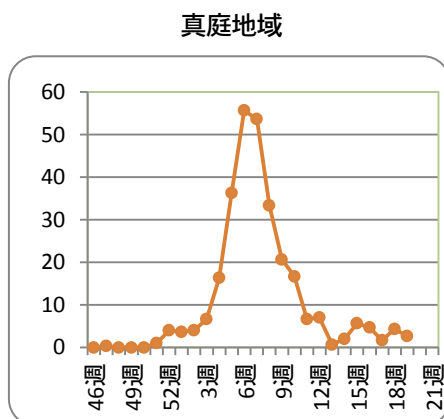
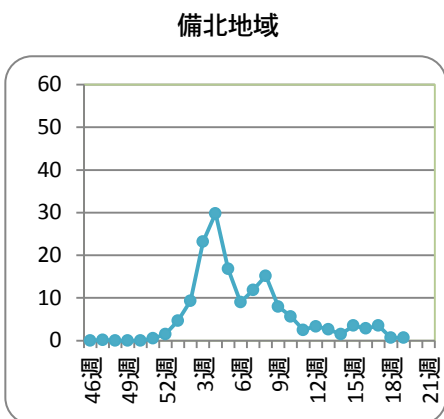
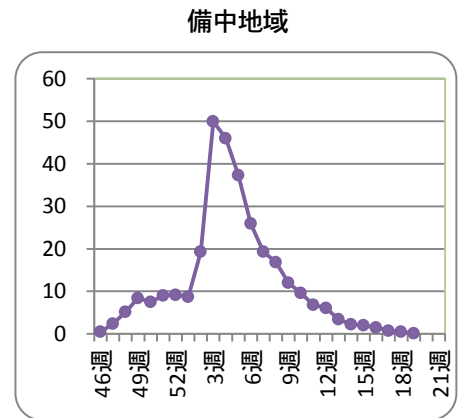
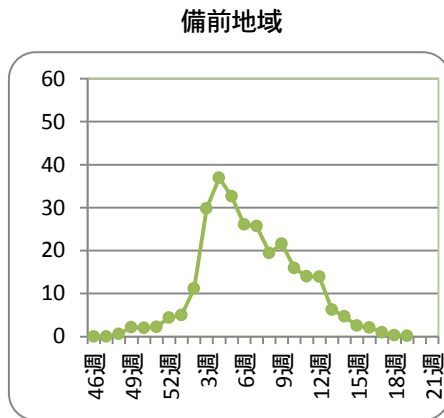
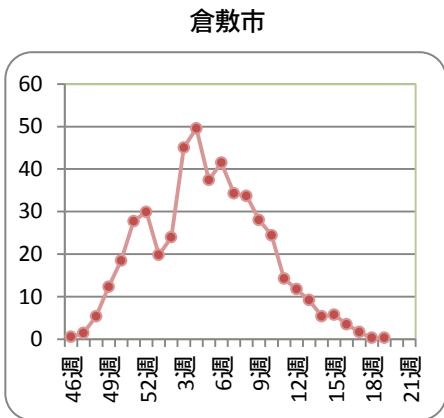
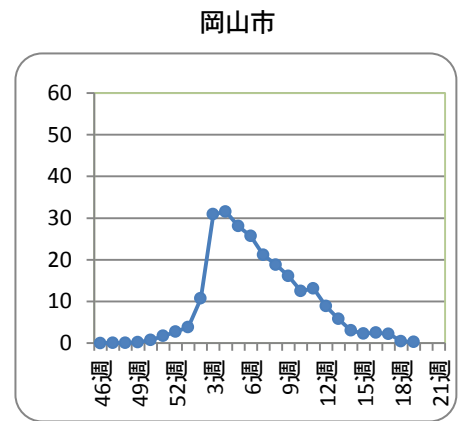
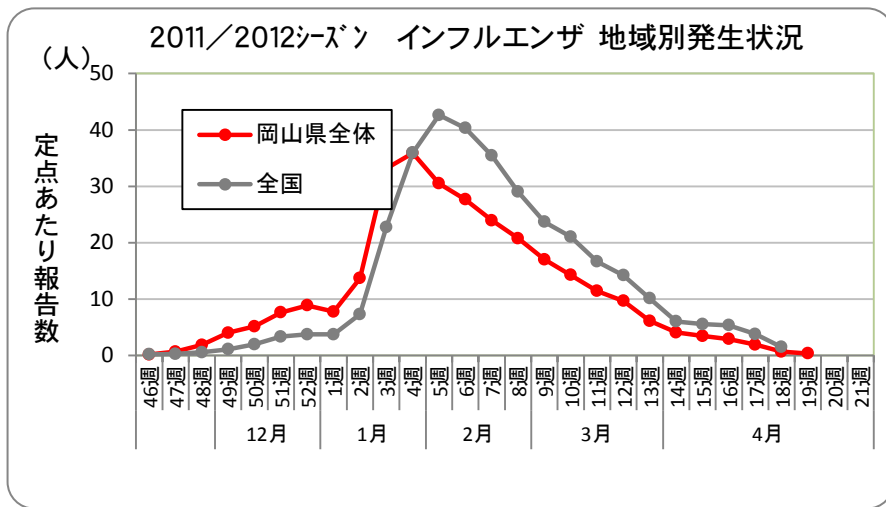


2. 地域別発生状況

第19週 (5/7~5/13) 前週からの推移 (単位: 人)

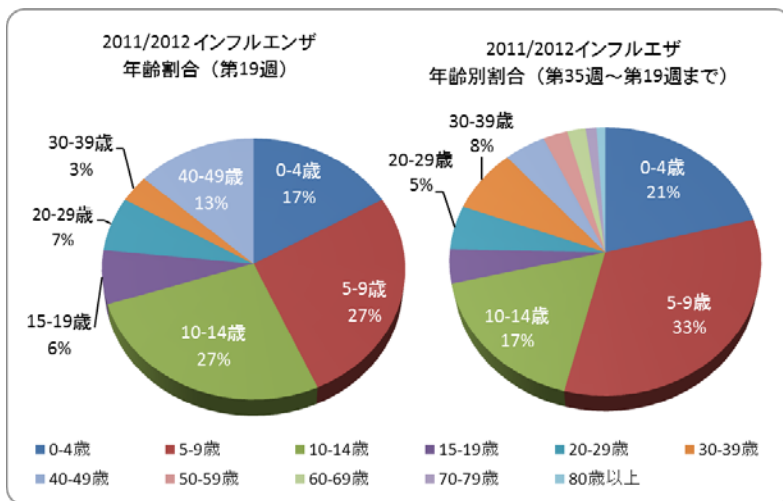
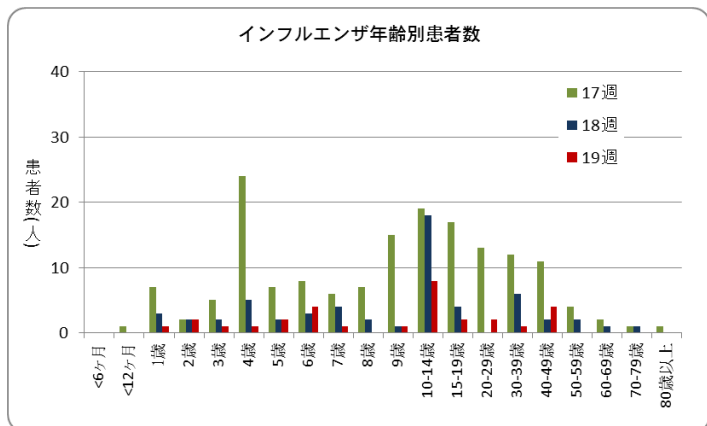
地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
	患者数	30			患者数	2	
岡山県全体	患者数	30	↓	備中	患者数	2	↓
	定点あたり	0.36			定点あたり	0.17	
岡山市	患者数	6	↓	備北	患者数	4	→
	定点あたり	0.27			定点あたり	0.67	
倉敷市	患者数	5	→	真庭	患者数	8	→
	定点あたり	0.31			定点あたり	2.67	
備前	患者数	2	↓	美作	患者数	3	↓
	定点あたり	0.13			定点あたり	0.30	

【記号の説明】 前週からの推移: ↓ 2倍以上の減少 ↓ 1.1~2倍未満の減少 → 1.1未満の増減
 ↗ 1.1~2倍未満の増加 ↑ 2倍以上の増加



2. 年齢別患者発生状況 第19週 (5/7~5/13)

第19週、患者の年齢割合は5-9歳、10-14歳がともに全体の27%で最も多く、0-4歳が17%の順でした。ひきつづき幼稚園児、小学生、中学生に該当する年齢層が多くを占めています。

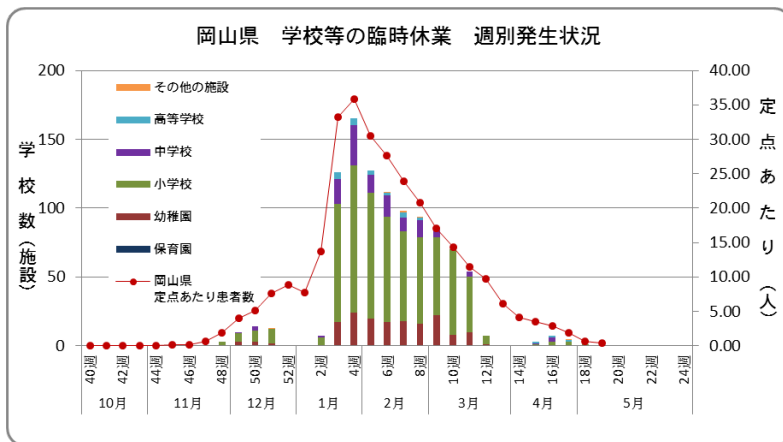


➤ インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数 第19週 (5/7~5/13)

第19週、インフルエンザとみられる学校の臨時休業はありませんでした。

第19週までの合計は、有症者数 15,586 名、うち欠席者数 11,446 名、施設数はのべ 1,002 施設になりました。

[岡山県 インフルエンザとみられる臨時休業 \(健康推進課ホームページ\)](#)



1. 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳 【第19週】 (5/7~5/13)

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	0	15,586	0	11,446	0	1,002	0	42	0	287	0	673	H23. 10. 31
岡山市	0	6,596	0	4,606	0	387	0	4	0	67	0	316	H23. 12. 15
倉敷市	0	3,692	0	2,764	0	220	0	7	0	39	0	174	H23. 10. 31
備前地域	0	1,986	0	1,610	0	151	0	6	0	68	0	77	H23. 12. 5
備中地域	0	1,410	0	1,184	0	116	0	10	0	46	0	60	H23. 11. 30
備北地域	0	313	0	227	0	29	0	3	0	12	0	14	H24. 1. 16
真庭地域	0	537	0	341	0	33	0	7	0	22	0	4	H24. 1. 13
美作地域	0	1,052	0	714	0	66	0	5	0	33	0	28	H24. 1. 16

2. 臨時休業施設数の内訳 第19週（5/7～5/13） 第19週：0施設 累計：1,002施設

	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	—	—	—	162	—	696	—	114	—	25	—	5

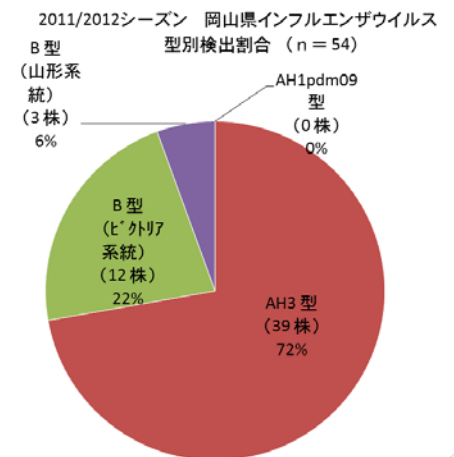
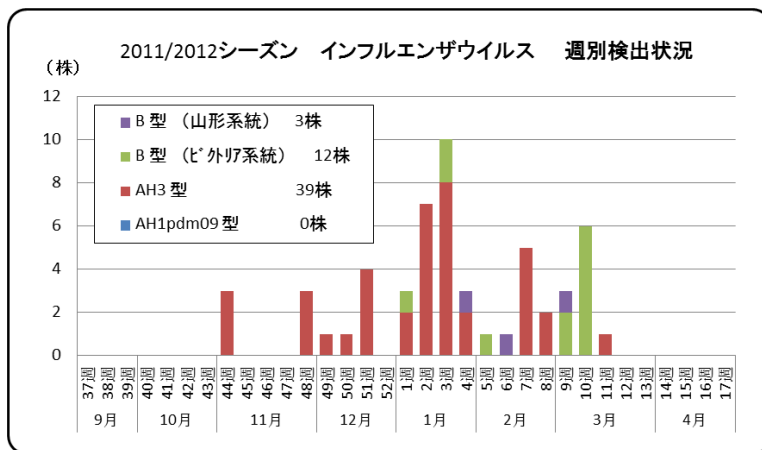
➤ インフルエンザウイルス検出状況 第19週（5/7～5/13）

第19週、当センターで検出されたインフルエンザウイルスはありません。

今シーズン県内では、AH3型が39株、B型（ビクトリア系統）が12株、B型（山形系統）が3株検出されています。

これまで全国で検出されたインフルエンザウイルスの累計は、AH3型の割合が最も多く75.0%、B型が24.8%、AH1 pdm09型が0.2%の順になっています。AH3型が主流でしたが、現在検出されているウイルスの多くはB型です。

[\(国立感染症情報センター インフルエンザウイルス分離・検出速報 2011/2012シーズン\)](#)



➤ 入院時の状況と年齢別内訳 第19週（5/7～5/13）(県内基幹定点 5医療機関による報告)

第19週、インフルエンザによる入院患者はありませんでした。

これまでの入院患者の多くは4歳以下の幼児と、70歳以上の高齢者です。

【平成23年9月5日以降に入院した各患者の累計数】

* 重複あり

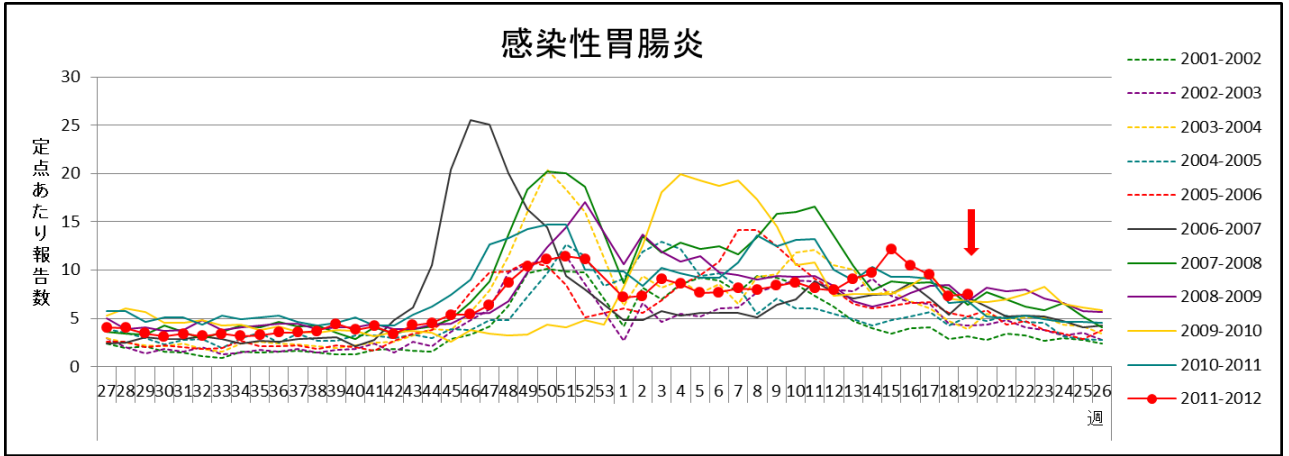
年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数	11	21	13	3	1	1	2	1		6	13	21	93
ICU入室										1	2		3
人工呼吸器の利用											1		1
頭部CT検査(予定含)	1	7	4	1	1						4	2	20
頭部MRI検査(予定含)	1	3									3	1	8
脳波検査(予定含)	1	6	1								3	1	12
いずれにも該当せず	10	12	9	2		1	2	1		5	7	19	68

感染性胃腸炎情報 第 19 週 2012 年 5 月 7 日～5 月 13 日

- 岡山県内の患者報告数は 405 名（ 定点あたり 7.50 人 ）で、前週とほぼ同数でした。
- 美作地域では、感染症発生レベル 3 が継続しています。

【第 20 週 速報】

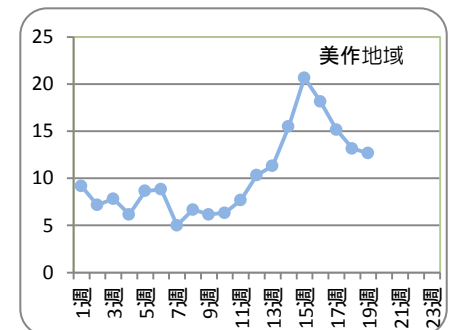
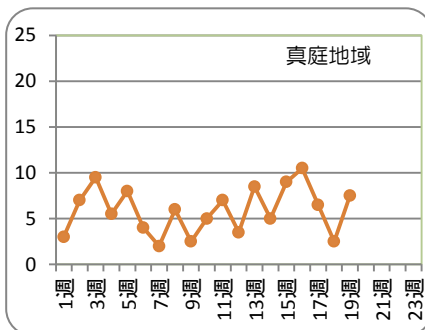
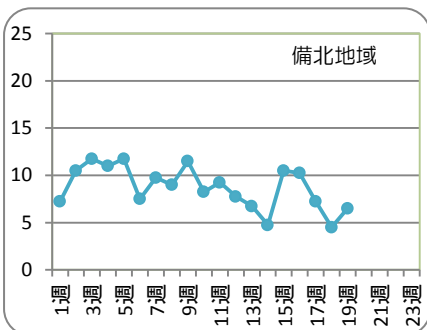
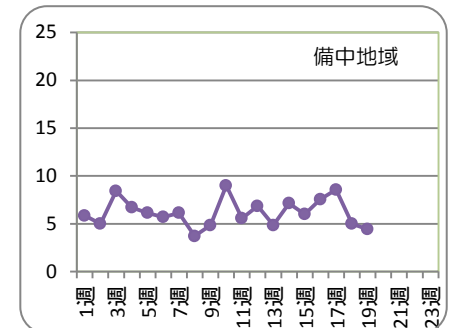
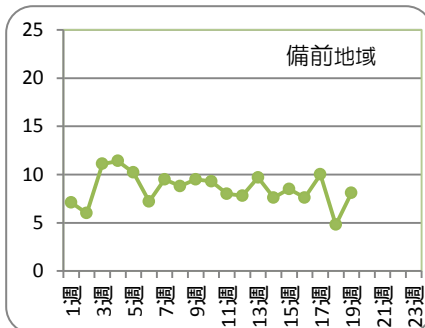
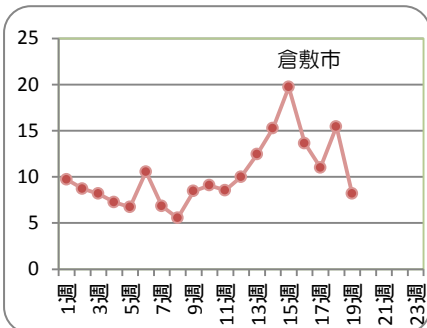
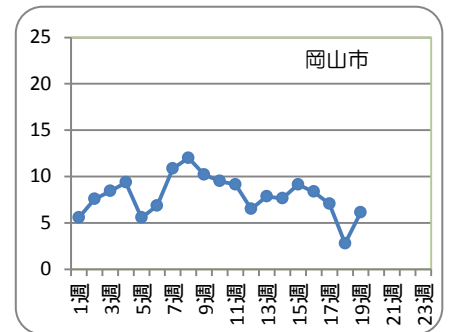
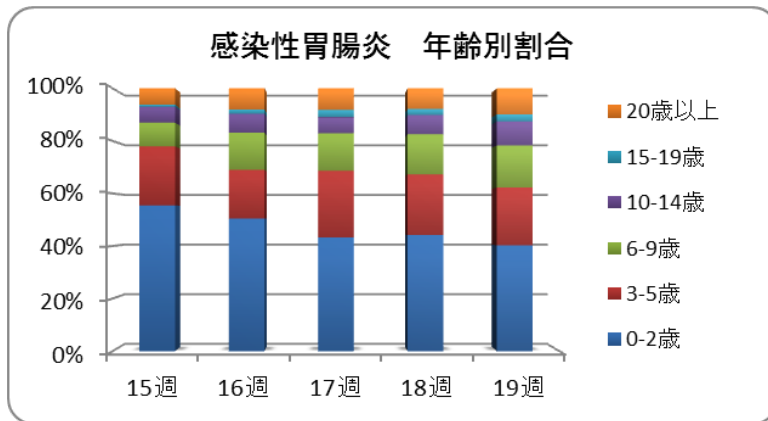
- 感染性胃腸炎による学級閉鎖が、倉敷市の小学校 2 校でありました（5 月 15 日、17 日）。



※感染性胃腸炎は、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週 ～ 今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

感染性胃腸炎の定点あたり患者数は、前週とほぼ同数でした（ 54 定点医療機関 定点あたり 7.30 → 7.50 人 ）。地域別では、美作地域（12.67 人）で患者が多く、依然として感染症発生レベル 3 が継続しています。患者は、0-5 歳の低年齢層に多くみられ、この年齢層が全体の約 60% を占めています。

全国の[感染性胃腸炎のウイルス検出報告](#)では、ロタウイルスの検出件数が増加しています。手洗いを励行するなど、ひきつづき感染予防に努めましょう。



保健所別報告患者数 2012年 19週 (2012/05/07～2012/05/13)

2012年5月16日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	30	0.36	6	0.27	5	0.31	2	0.13	2	0.17	4	0.67	8	2.67	3	0.30
RSウイルス感染症	5	0.09	1	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.50	3	0.50
咽頭結膜熱	21	0.39	5	0.36	4	0.36	-	-	4	0.57	-	-	-	-	8	1.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	92	1.70	33	2.36	16	1.45	13	1.30	7	1.00	-	-	7	3.50	16	2.67
感染性胃腸炎	405	7.50	86	6.14	90	8.18	81	8.10	31	4.43	26	6.50	15	7.50	76	12.67
水痘	94	1.74	20	1.43	36	3.27	14	1.40	5	0.71	10	2.50	1	0.50	8	1.33
手足口病	3	0.06	1	0.07	-	-	1	0.10	-	-	-	-	-	-	1	0.17
伝染性紅斑	4	0.07	1	0.07	-	-	-	-	-	-	3	0.75	-	-	-	-
突発性発疹	35	0.65	20	1.43	4	0.36	4	0.40	2	0.29	-	-	-	-	5	0.83
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	30	0.56	8	0.57	10	0.91	5	0.50	7	1.00	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	0.08	-	-	-	-	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	3	0.60	-	-	1	1.00	-	-	-	-	2	2.00	-	-	-	-
クラミジア肺炎	1	0.20	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2012年 19週 (2012/05/07～2012/05/13)

2012年5月16日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	30	0.36	6	0.27	5	0.31	2	0.13	2	0.17	4	0.67	8	2.67	3	0.30
咽頭結膜熱	21	0.39	5	0.36	4	0.36	-	-	4	0.57	-	-	-	-	8	1.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	92	1.70	33	2.36	16	1.45	13	1.30	7	1.00	-	-	7	3.50	16	2.67
感染性胃腸炎	405	7.50	86	6.14	90	8.18	81	8.10	31	4.43	26	6.50	15	7.50	76	12.67
水痘	94	1.74	20	1.43	36	3.27	14	1.40	5	0.71	10	2.50	1	0.50	8	1.33
手足口病	3	0.06	1	0.07	-	-	1	0.10	-	-	-	-	-	-	1	0.17
伝染性紅斑	4	0.07	1	0.07	-	-	-	-	-	-	3	0.75	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	30	0.56	8	0.57	10	0.91	5	0.50	7	1.00	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	0.08	-	-	-	-	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-

濃黄セルに赤字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル3
薄黄セルに黒数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2
を示しています。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2012年 第19週 2012/05/07～2012/05/13)

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	30	-	-	1	2	1	1	2	4	1	-	1	8	2	2	1	4	-	-	-	-

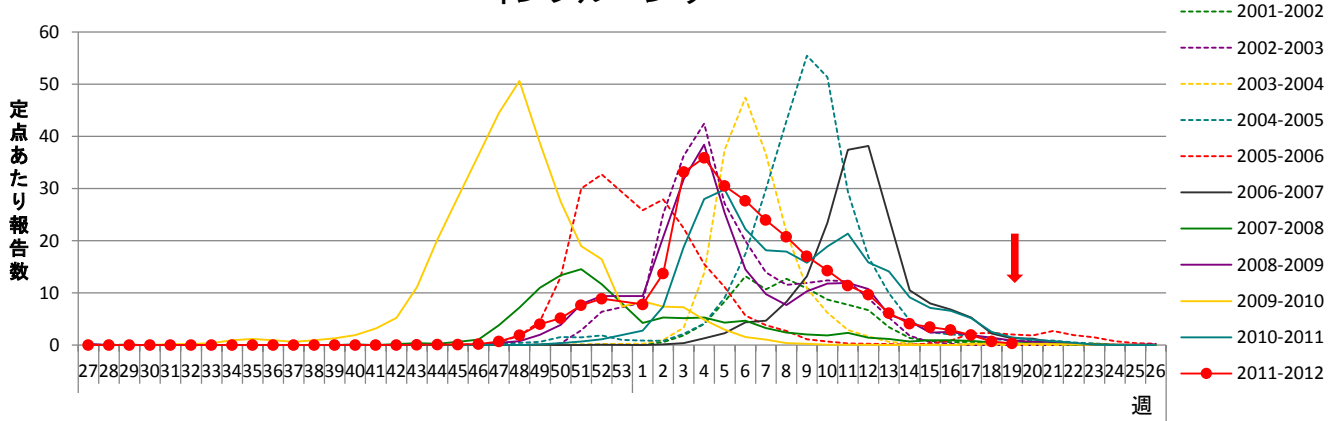
疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～
RSウイルス感染症	5	-	1	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	21	-	2	9	2	3	4	1	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	92	-	-	5	6	7	11	15	7	14	4	5	14	1	3
感染性胃腸炎	405	6	40	71	46	36	29	24	14	20	18	13	37	11	40
水痘	94	2	9	24	20	8	12	5	4	2	2	1	4	-	1
手足口病	3	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
伝染性紅斑	4	-	-	-	1	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	35	1	17	16	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	30	-	-	3	2	2	7	3	1	3	2	2	4	1	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-

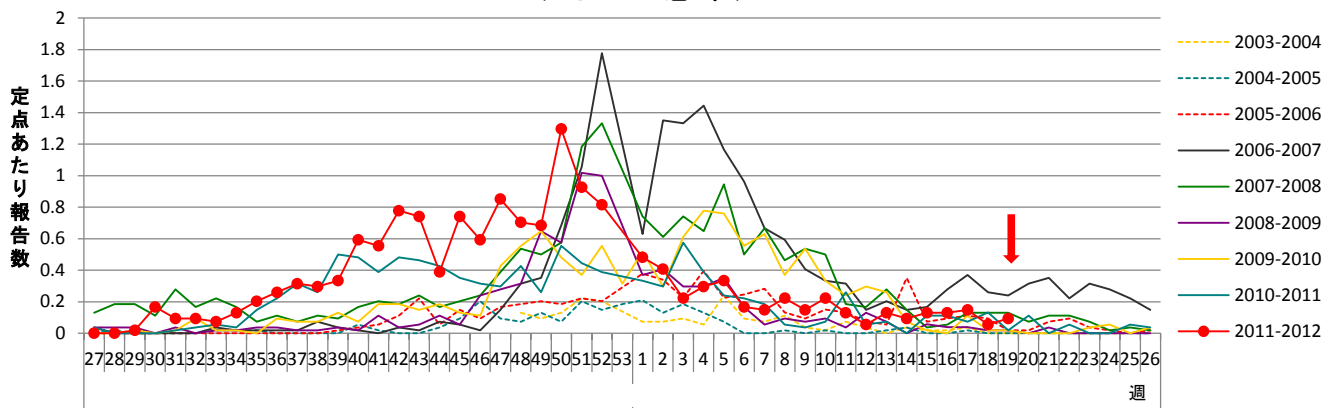
疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	3	-	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-

(- : 0)

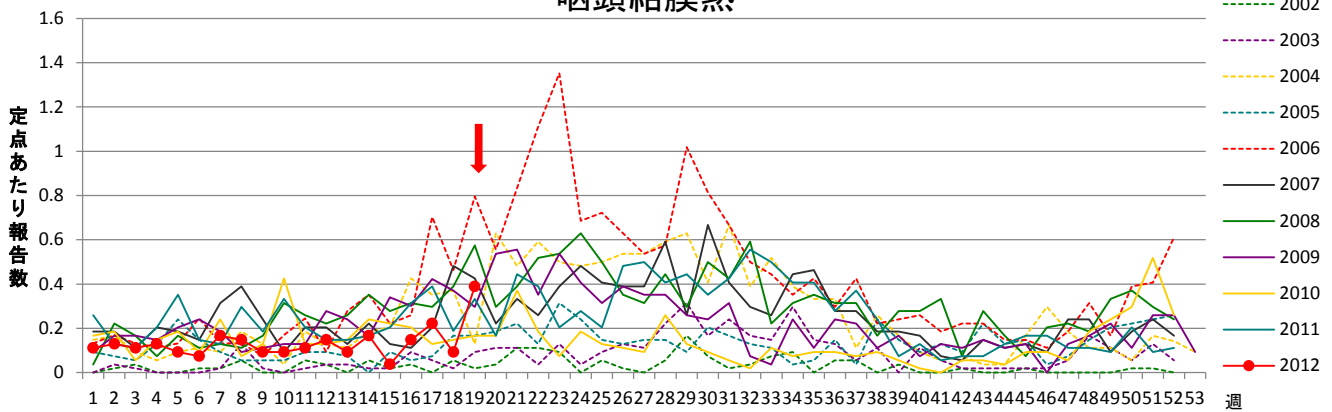
インフルエンザ



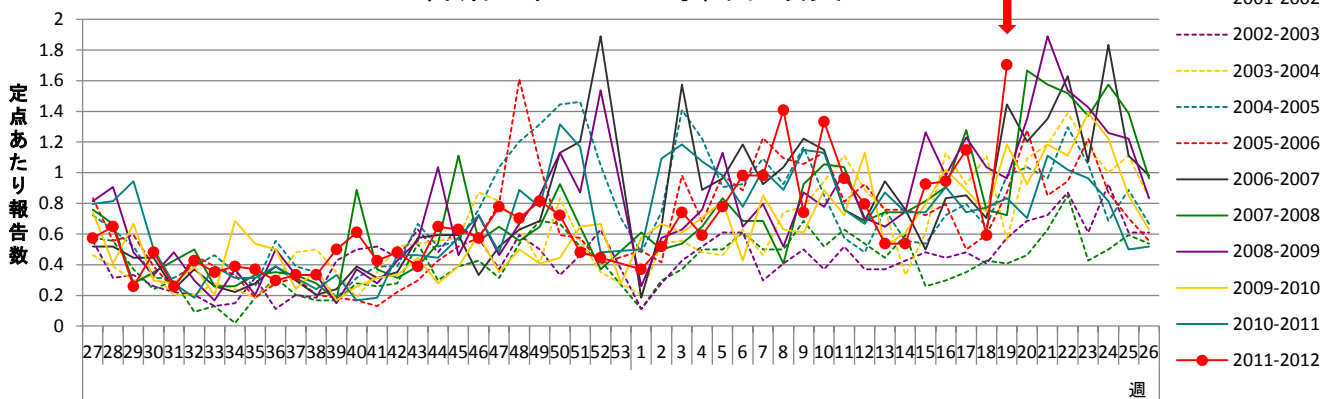
RSウイルス感染症



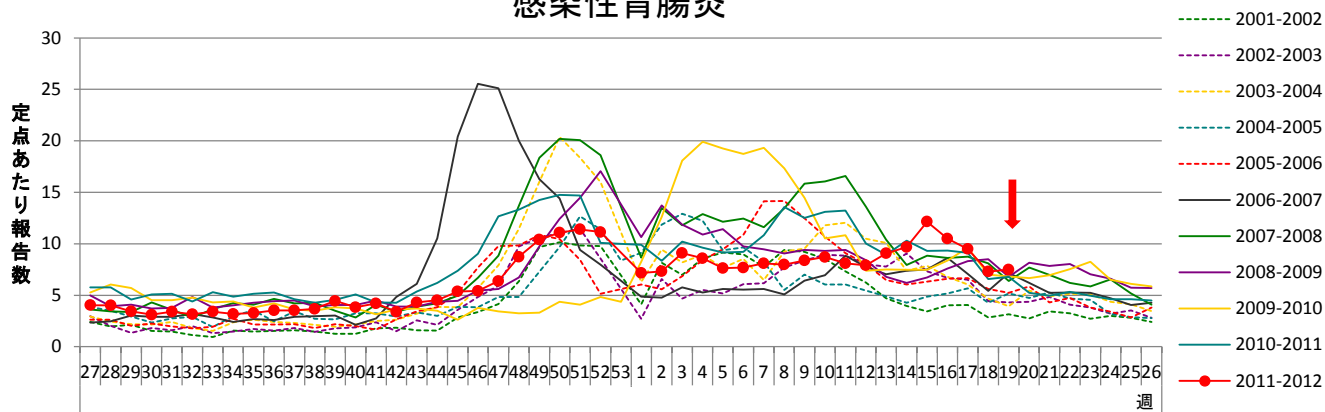
咽頭結膜熱



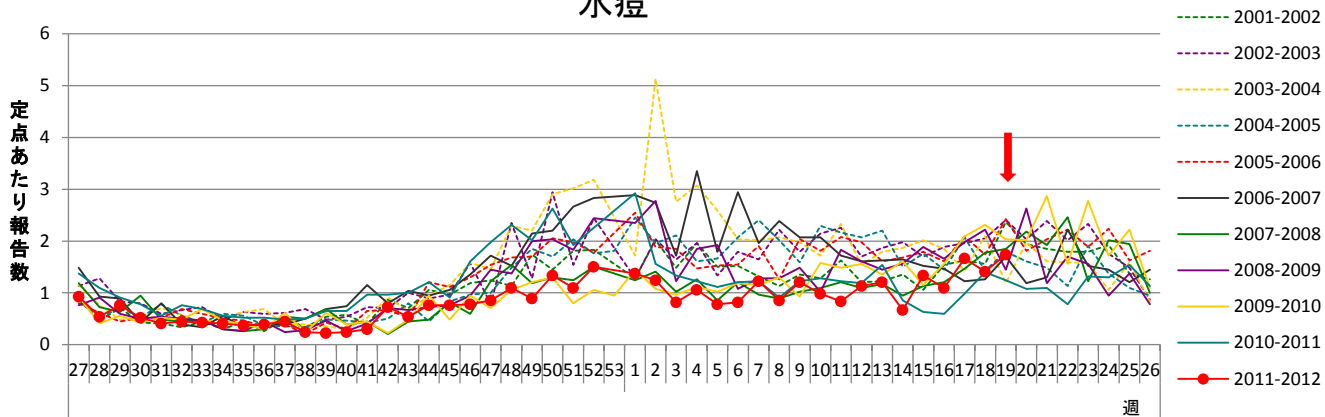
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



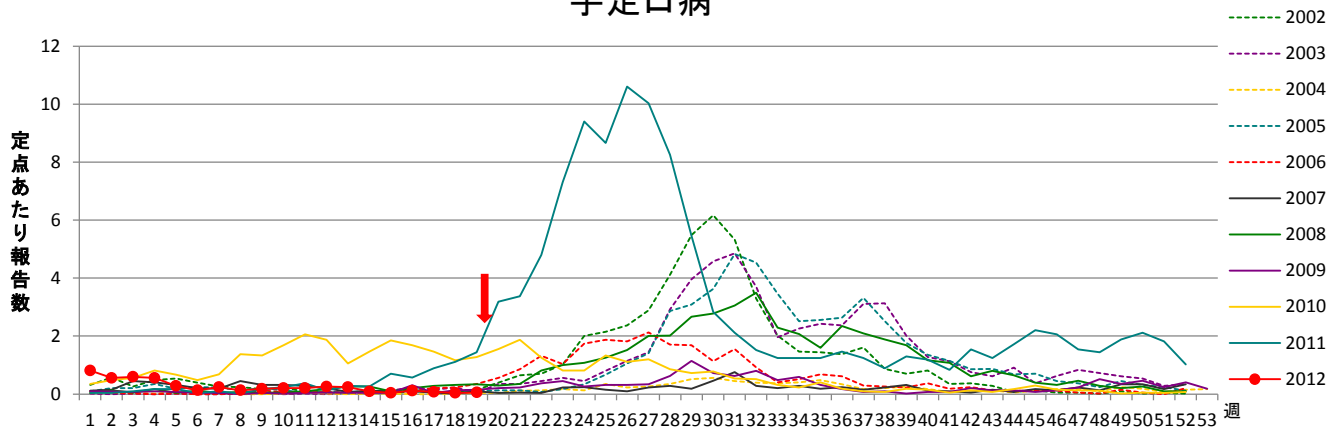
感染性胃腸炎



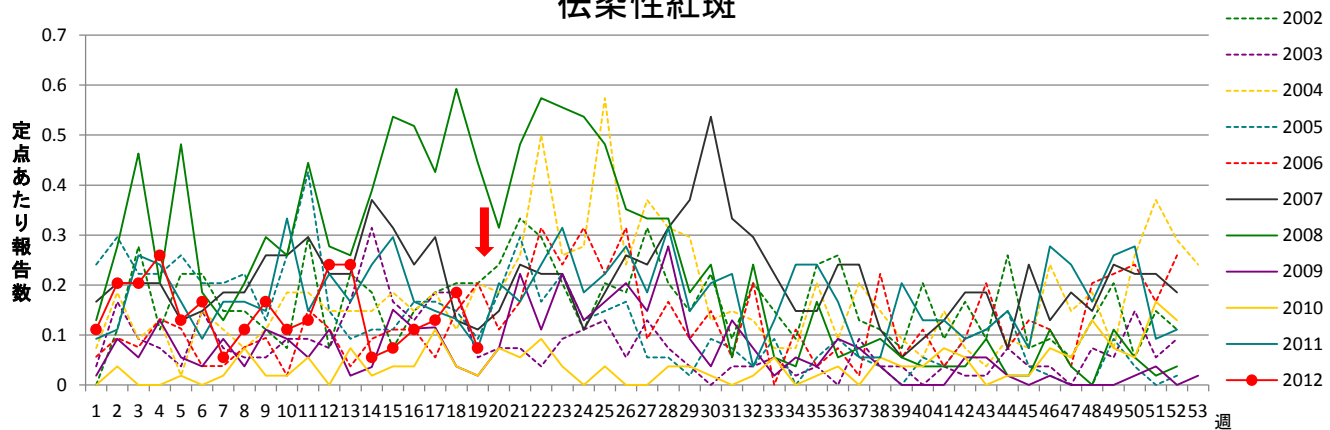
水痘



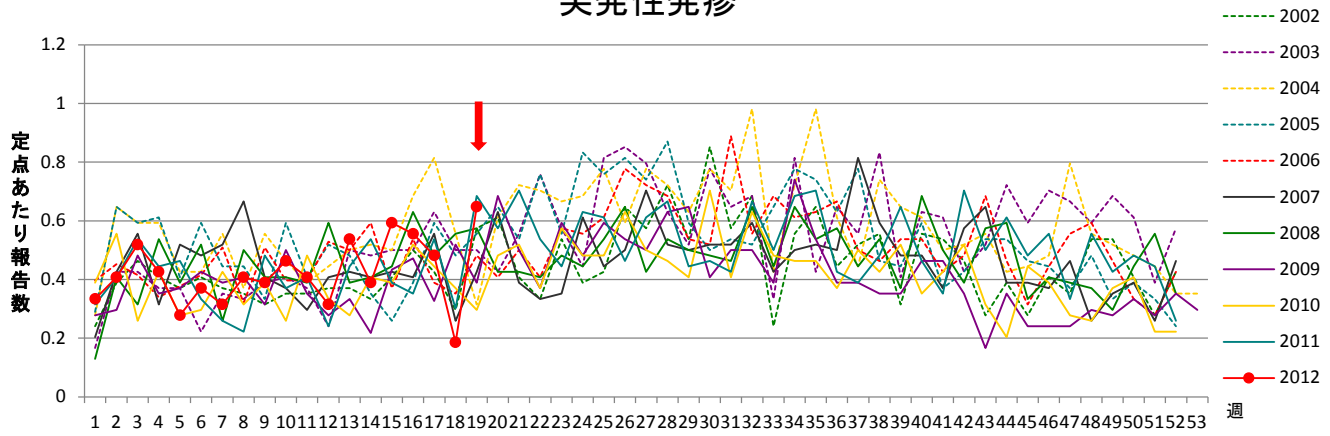
手足口病



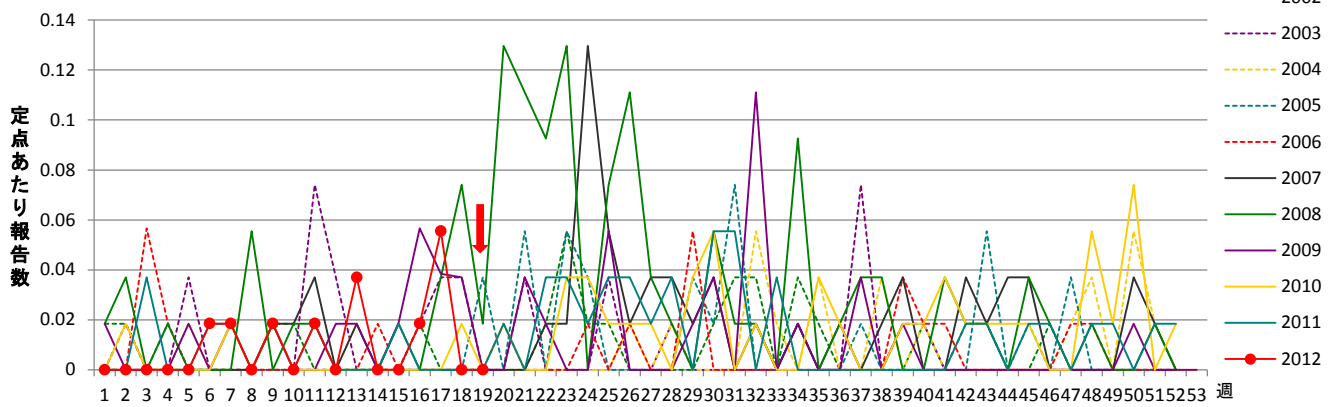
伝染性紅斑



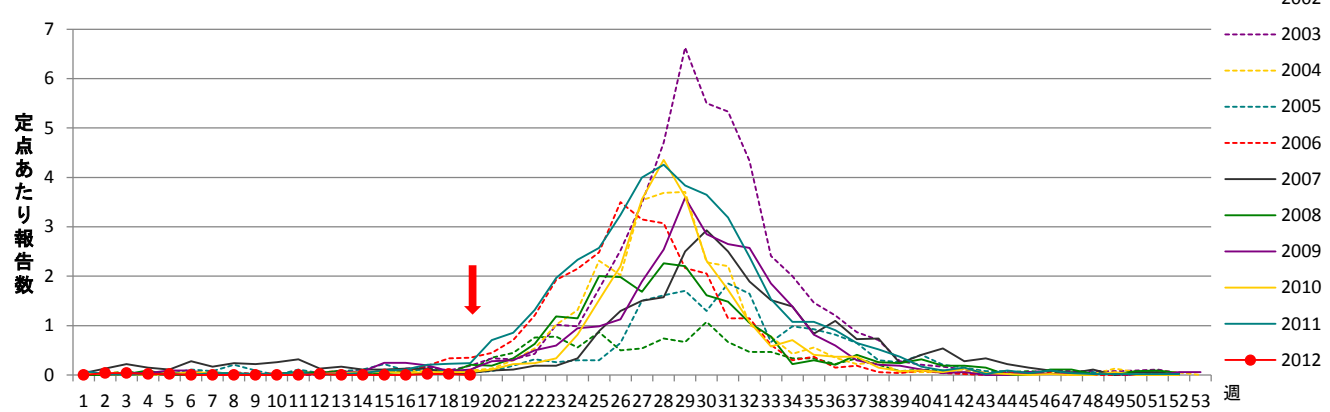
突発性発疹



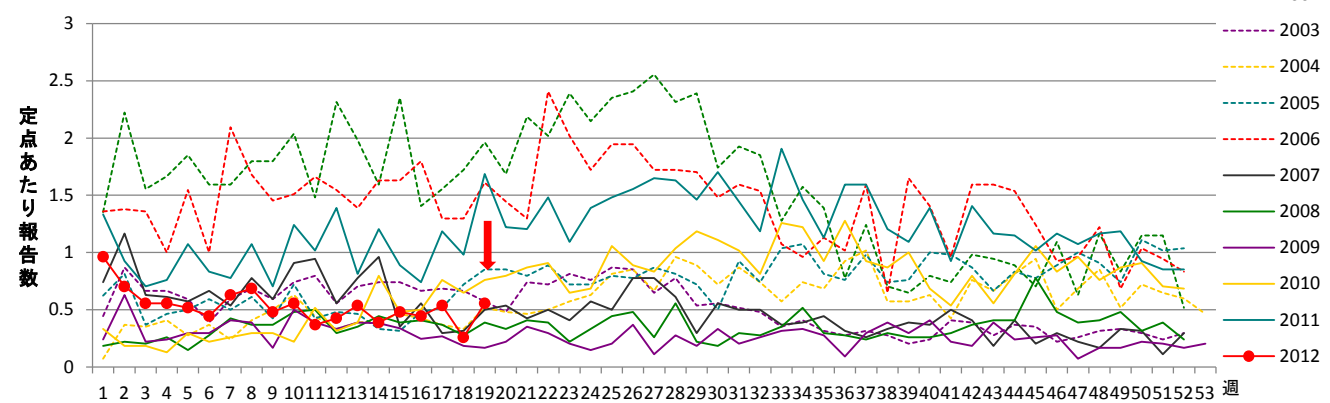
百日咳



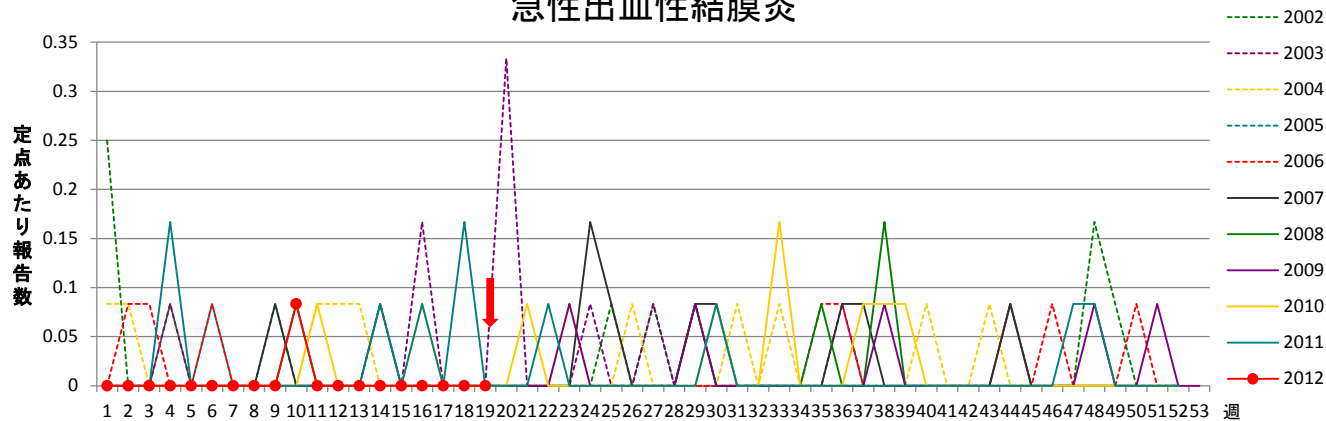
ヘルパンギーナ



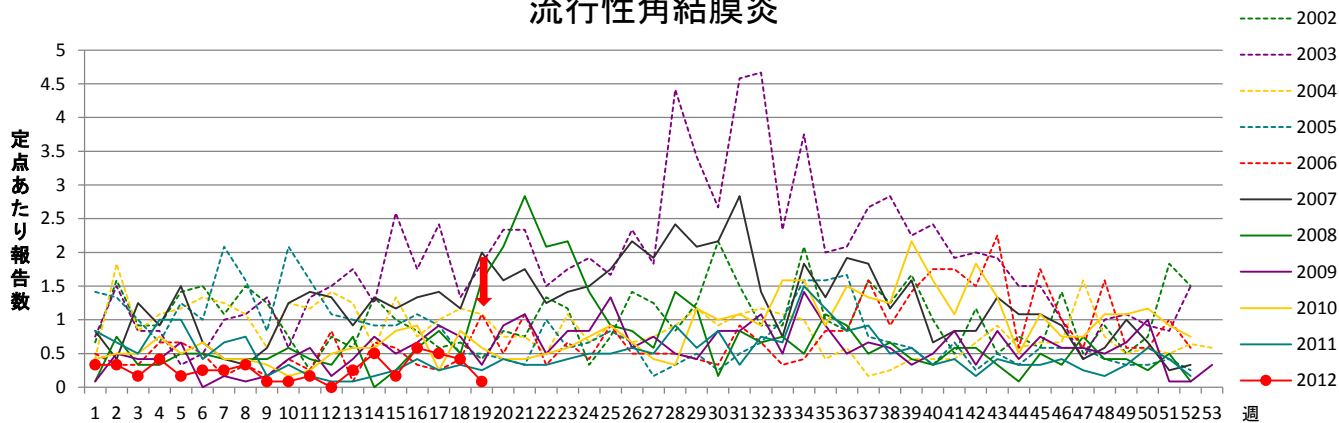
流行性耳下腺炎



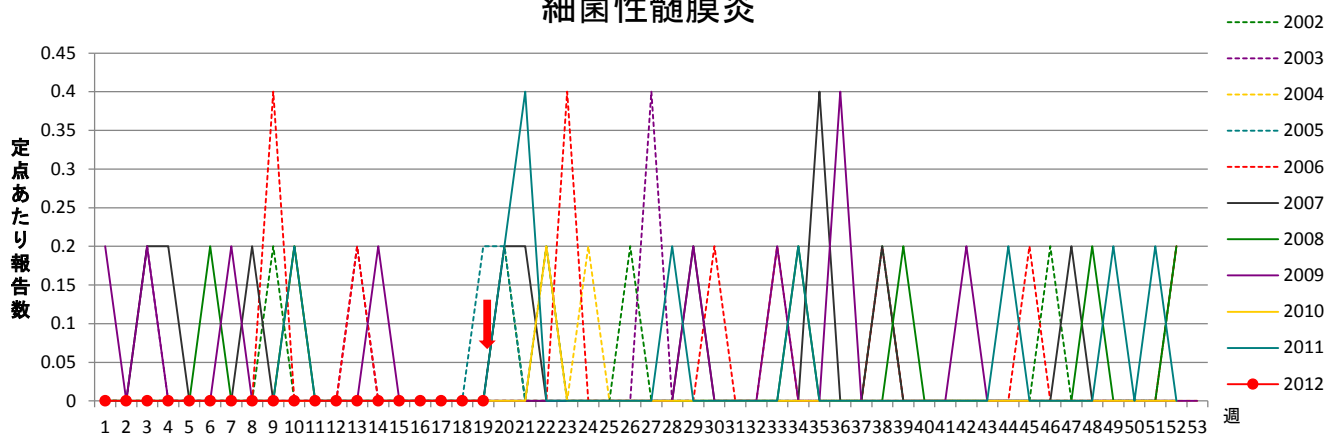
急性出血性結膜炎



流行性角結膜炎



細菌性髄膜炎



無菌性髄膜炎

